

第3回若者まちづくりミーティング 概要

1 日時

平成28年8月22日（月）午後2時から午後4時30分まで

2 場所

蒲郡市勤労福祉会館第3会議室

3 出席者

(1) 若者まちづくりミーティング参加者（総人数15名の内11名出席）

（出席者内訳）

- ・高校生 2名
- ・大学生及び大学院生 6名
- ・社会人 3名

(2) ファシリテーター

名古屋大学大学院工学研究科 恒川 和久 准教授

4 内容

ワークショップ 「まちの核となるエリアの魅力創出」について考える その2

(1) エリアの課題について考える

参加者が2グループに分かれ、『蒲郡駅南エリア』ならびに『竹島周辺エリア』の弱みをどのように解決するか・強みをどのように伸ばすかについて、事前に考えてきた意見を出し合いました。出された意見を整理してグループのリーダーが発表しました。

参加者から出された意見は以下のとおりです。

【Aグループ】

蒲郡駅南エリア	竹島周辺エリア
☆ 市民の日常利用のための利便性の高いエリアに。 ➤ 既存の文化施設に、市民が日常的に利用する機能（カフェ、買物、証明書発行等）を持たせ、利便性を向上させる。 ➤ 複数の施設が合同・連携した形でのイベント開催。特に親子連れをターゲットとする。 ➤ 博物館に、繊維など地域産業の技術に関する特色あるコンテンツを持たせ、竹島クラフトセンター等との連携を図る。	☆ 竹島周辺の魅力発信 ➤ 竹島周辺は、蒲郡を代表する観光スポットとして位置づける。 ➤ 竹島の歴史・文化的な価値を発信するための拠点機能を設ける。 ☆ 竹島周辺の整備 ➤ 竹島水族館の集客力を活かし、店舗等を活性化させる。 ➤ 空き地等を利用し、イベントや運動を行える場所を設け、集客力をさらに高める。 ➤ 園地内に、カフェなど休憩ができるような快適な空間を整備する。既存施設も活用し、例えば、南部市民センターで飲食等を可能にする。
蒲郡駅南エリア・竹島周辺エリア共通	
☆ 積極的なアピール（認知度向上） ➤ 現在は各施設で蒲郡の特産品（蒲郡うどん、海鮮丼、みかん、干物等）を購入することができない。特産品を販売することで、集客力を高められるのではないかな。 ➤ みかん狩りや釣りなど、体験型の観光の拠点を設ける。 ➤ 認知度の低い施設が多く存在するため、看板やパンフレットでPRする。 ➤ JR蒲郡駅の改札前に、テナント等を出店し、認知度向上に繋げる。既存のナビテラスも、もっと活用できるのではないかな。 ☆ 蒲郡駅南～竹島エリアを観光特区に ➤ 2つの重要なエリアを結びつけて、一体的なエリアとして整備する。 ➤ 蒲郡駅から竹島までを繋げる海沿いの遊歩道の整備や、イルミネーションによって、一体的なエリアとして、各施設・観光スポットを繋げる。 ☆ 観光客の誘客や民間施設の誘致 ➤ 市外の方にも話題となるような「目玉」となる施設やオブジェ等を設置することで、観光客を誘客する。 ➤ 公共施設の利用者を、民間施設の利用者に繋げるなど、官民で連携することで、活性化を図る。 ➤ 学生が楽しめるような店舗などを設け、若い人が集まるエリアにする。 ➤ 民間施設を誘致し、様々な施設やスペース（例：民間施設で買ったものを食べる海が見えるスペース、イベントスペース等）を整備する。	

【B グループ】

蒲郡駅南エリア	竹島周辺エリア
✧ 憩いのスペースづくり ➤市民会館に勉強するスペース、憩いの場としてのスペースを設ける。 ➤生命の海科学館をリノベーションし、図書館の機能を持たせる。1Fにはゆっくり休めるカフェを併設する。寿楽荘や子育て支援センターの機能も取り入れることが考えられる。 ➤不要な土地は売却し、子育て世帯の獲得に活用する。 ➤市民会館・博物館の広い駐車場に休憩スペースを配置し、イベントにも活用可能とする。 ✧ イベントの実施 ➤海辺の景観等を活用して、イベントを実施することで、魅力が高められる。 ➤観光スポットと共同で行うイベント（例：8/21に行われていたサンドアートのイベント）を開催すると、集客できるのではないか。 ✧ 高齢者のためのスペースづくり ➤観光地から少し離れた場所は、高齢者達が利用しやすいのではないか。 ✧ 環境整備 ➤観光拠点である竹島周辺エリアまで歩いていけるような道を整備する。 ➤運動できる場所があると良い。 ➤若者が集まれる場所があると良い。 ✧ 身近なものを生かす ➤蒲郡の人が当たり前だと思っていること（例：景観、海などの自然、みかんといった特産物等）をもっとアピールする必要がある。	✧ 環境整備 ➤竹島水族館から竹島までの間の道を整備する。蒲郡の特徴を表現したデザインや、竹島周辺の美しさを感じられる道であると良い。 ➤南部市民センターを、周辺住民以外にも利用しやすいような開放的なものにし、観光センター等を設置する。 ➤観光だけでなく、市民が運動や海水浴、休憩できる場所を設け、観光客と市民の双方が訪れるエリアとする。 ➤竹島水族館のアーケードを新しくするだけでも、雰囲気が変わるのではないかな。 ✧ 長時間滞在できると良い ➤竹島水族館の利用者に長時間滞在してもらう工夫（例：竹島まるごとクーポン等）が必要。 ➤宿泊して体験したくなるような施設、イベントが必要。 ➤長時間滞在を促すような、魅力の発信が必要。 ➤竹島水族館の隣接地を、賑わいのある場所とする（例：マダムが集うカフェ、高齢者や子育てファミリー向けの食事場所、カップルが落ち着けるバー・居酒屋、道の駅のような特産品を購入できる施設等）。 ➤竹島水族館のサインや看板による見せ方、情報発信の方法（SNSの活用等）について、工夫が必要。

○発表の概要

(Aグループ)

- ・蒲郡駅南エリアについては、市民生活を支える地域だが、実際には利便性などの面で、市民生活を支えられていないのではないかな。
- ・既存の施設もうまく活用して、市民が日常的に利用する機能（カフェ、買物、証明書発行等）を持たせるなどして、利便性を高めると良いのではないかな。また、施設を利用したイベントの開催なども、日常利用の促進に繋がるのではないかな。
- ・竹島周辺エリアについては、魅力の発信が必要。現在の施設も活用しながら、歴史・文化的な価値を発信するための拠点や、休憩や飲食ができる場所を整備できると良い。
- ・蒲郡駅南エリア・竹島周辺エリア共通の意見としては、蒲郡の特産品や観光地をアピールするための看板や広告などが必要という意見があった。既存のナビテラスも、もっと活用できると良い。

(Bグループ)

- ・蒲郡駅南エリアについては、憩いのスペースに対する意見が多かった。具体的には、生命の海科学館をリノベーションし、図書館の機能や休める場所を設けることや、市民会館の駐車場を活用し、憩える場所を設けることが考えられる。
- ・エリアの魅力を高める取組みとしては、施設整備だけでなく、イベントなども考えられる。景観が良く、海がある立地を活かして、人が集まるイベントを開催する。景観や海などの魅力について、市外にも積極的なアピールが必要。
- ・竹島周辺エリアについては、環境整備が必要。竹島水族館から竹島が移動しにくいので、美しさを感じられるような道などの整備が必要。竹島水族館の集客を、他の施設や観光スポットにも繋げるような取組みが必要。様々な魅力があることがアピールできていない。

(2) 機能の配置を考える

ア 公共施設の機能（説明：恒川准教授）

一般的な公共施設の機能（公共施設でできること）として、「学ぶ」、「趣味の活動をする」、「発表・展示をする」、「会議や集会をする」、「図書やメディアにふれる」、「休憩」、「スポーツ」、「観光」、「子育て」、「障害者・高齢者福祉」、「居住」、「行政手続き」といった機能があり、これらを適切に配置して行政サービスを提供すること、ならびに社会情勢や市民ニーズの変化に応じて、ここには無い機能を考えることも、まちの魅力を高めるために必要な旨の説明がありました。

イ エリアにおける機能配置

参加者が2グループに分かれ、Aグループは「蒲郡駅南エリア」、Bグ

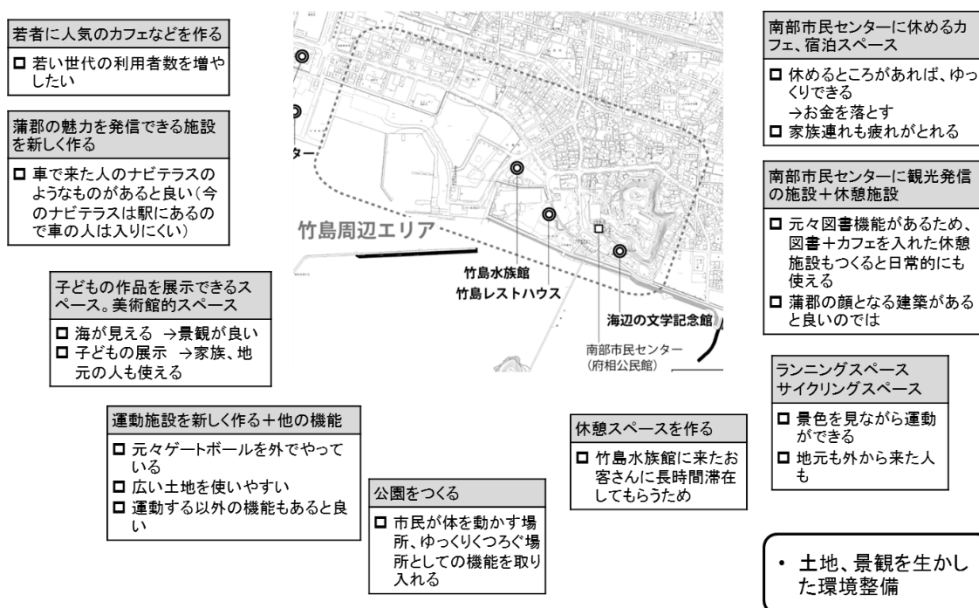
ループは「竹島周辺エリア」について、地図上の既存施設や土地に、(1)の議論で整理した弱みの解決策、強みを伸ばす方策を当てはめ、エリアにおける機能配置について意見を出し合い、グループのリーダーが発表しました。

参加者から出された意見は以下のとおりです。

【Aグループ】



【Bグループ】



○発表の概要

(Aグループ)

- ・人が集まっていない現状がある。特に学生など、若い人が集まるように飲食店等を増やすと良いのではないかな。
- ・博物館や市民会館は利用者が少なく、単体では集客力がない。各施設が工夫するとともに、エリア内での連携を図っていくことが必要。
- ・利用されていない蒲郡乗船センターを有効活用できないか。竹島周辺の施設とも連携を取り、集客機能を持たせられると良い。
- ・生命の海科学館は、現在の建物を活用し、海を見ながら食事をする、海の音を聞きながら勉強をするといった形にできれば、集客に繋がるのではないかな。

(Bグループ)

- ・竹島水族館や海辺の文学記念館などの施設は工夫を施していて魅力があり、施設以外にも潮干狩りといった魅力がある。しかし、それぞれが単体で努力している状態で、一体となっていない。つなげることが重要。
- ・施設だけでなく、土地や景観も活用できるのではないかな。ランニングやサイクリングができるスペースや、美しい景観の中で休むスペースがあると、次の施設や観光スポットに移動しようとする気持ちに繋がる。長時間滞在できるようなエリアにできると良い。
- ・また、運動できるスペースや、子どもが制作したものを展示するスペースなどを設けると、親が見に来るなど、地域住民の利用も増え、活気が生まれるのではないかな。

(3) 「複合化・多機能化」を踏まえて考える

ア 「複合化・多機能化」について（説明：恒川准教授）

「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、蒲郡市においては、将来の人口減少や少子高齢化を見据えて「適正化」・「効率化」を進めながら「魅力」を高めるため、機能の「複合化」や「多機能化」が必要なこと、「複合化・多機能化」の取り組み内容、「複合化・多機能化」の先進事例について説明がありました。

また、蒲郡市の主要な全市利用型施設の施設一覧表や施設配置図に基づき、蒲郡市の現状として、ある施設の近くに同じ機能を持った施設が近くに立地していることなどについて説明がありました。

イ エリアにおける機能配置

グループが検討するエリアを入れ替え、Aグループは「竹島周辺エリア」、Bグループは「蒲郡駅南エリア」について、「複合化・多機能化」の視点も踏まえた上で、地図上の既存施設や空いている土地に、(1)の議論で整理した弱みの解決策、強みを伸ばす方策を当てはめ、エリアにおける機能配置について意見を出し合い、グループのリーダーが発表しま

した。

参加者から出された意見は以下のとおりです。

【Aグループ】

ゲートボールで使われている
場所で、貸しボールなどがあれ
ば遊びにきたりしそう

空き地に体育館などをつくる
イベント、休憩などでもできる

☐ ジムでトレーニングしながら
竹島を見ることができる

☐ 蒲郡乗船センターから竹島
までの海沿いにランニング
できる所をつくる

竹島水族館横のショッピングセンター
をきれいに&蒲郡の名産品の販売

☐ 道の駅のように立ち寄って買い物
ができる
→観光客UP

特産品もとれる体験
型の観光(海に近い
所。文学記念館など)

水族館の近くに休憩
スペース

目立つ建物を水族館辺
りに！

レストハウス、市民センター、
文学記念館 →一部機能を複
合化する

☐ 博物館の機能を持つてくる

竹島水族館横のショッピングセンター
をきれいに&蒲郡の名産品の販売

☐ 道の駅のように立ち寄って買い物
ができる
→観光客UP

マリンスポーツができ
るようにする

蒲郡南部市民センターで展示
や休憩などの集客機能を持た
せる

☐ 公民館として地域の人々が
使うことが多いので、市民
に開いた場所にする

☐ 竹島に来る→休憩したり資
料を見たり、創作物などを
見る→また来よう！

景色がいいのでレスト
ラン等を入れる



【Bグループ】

市民会館+博物館+民間施設の複合化

☐ 市民会館の利用状況が良く、博物館が
悪いので、間の駐車場に民間施設を配
置して連携させたら、人が流れる。博物
館の要素が開いていても良い

図書館を駅南エリアに(ex.市民会館の中)

☐ 駅から近い方が利用しやすい

☐ 博物館、生命の海科学館に近ければ調
べ物の際便利になることもある

市民会館に学生のための勉強スペースを
置く

☐ 高校生などが勉強するスペースは図書
館やアビタなどしかない(図書館は混雑
している)ため、市民会館の開いている
スペースを活用すると良い

市民会館の部屋の一部を図書館、福祉センター
(寿楽荘)のような機能を入れる

☐ 図書館が老朽化している。寿楽荘のアクセ
スが大変そう→若者と高齢者の両方が使える

☐ 駅からのアクセスが良い

☐ 部屋も有効利用できる

☐ 映画館で若者の集客

☐ 託児所もあると利用しやすい

☐ 医療施設もほしい

蒲郡駅南エリア

ナビテラス

博物館

市民会館

海濱館マリンセンターハウス

生命の海科学館

蒲郡乗船センター

役所的な機能があると良い

☐ 会社員も行ける

☐ 無料駐車場の利用

☐ 便利

体育センターを作る
他の施設も(温水プール、温泉)

☐ 駅から近くて便利

☐ 外からの集客

☐ スターバックスが良い

博物館の展示スペースを生命の海科学館に統合する
博物館の開いたスペースに何か入れることができる

☐ 展示スペースも充実

☐ 子どもの利用が多く、施設に親しみをもって欲しい

☐ 博物館の資料室、保存の機能は残したままで

医療のできるス
ペースをつくる

・ 博物館と科学館、図書館の複合

・ 市民生活の凝縮



○発表の概要

(Aグループ)

- ・南部市民センターに展示や休憩などの機能を持たせ、集客力を高められないか。
- ・また、竹島周辺エリア東部の南部市民センター、海辺の文学記念館、竹島レストハウス等は複合化ができるのではないかと。あわせて博物館など、竹島周辺エリア外の施設も複合化することで、竹島周辺の歴史・文化を市民に対してもアピールする拠点にできると思われる。
- ・竹島水族館の西側の土地を有効活用し、体育館のような運動施設、あるいは民間のショッピングセンター等を整備する。市内の若者や、市外からの利用者呼び込む。
- ・また、財政制約等を考えると、必ずしも施設を整備するのではなく、ボールの貸し出しなどの工夫を行うことで、利用者呼び込むことも考えられる。
- ・海岸線沿いにランニングコースや散歩道を整備し、観光やショッピング以外でも、市民に関心を持ってもらい、竹島に足を運んでもらう。
- ・また、蒲郡駅から竹島周辺まで、街灯やイルミネーションなどにより、分かりやすい道を整備し、アクセス性を高める。

(Bグループ)

- ・蒲郡駅南エリアを、市民生活に必要なものを凝縮したエリアとする。
- ・博物館、市民会館、生命の海科学館を複合化し、学習から趣味の活動まで、幅広い活動ができる施設とする。
- ・体育センターも、このエリアに整備する。プールや温泉、カフェ等を設けられれば、運動や休憩もできるようになり、蒲郡駅南エリアが「1日滞在できるエリア」となるのではないかと。
- ・必ずしも公共施設を整備するのではなく、民間のスポーツジムを併設することも考えられる。

(4) まとめ（説明：恒川准教授）

- ・今回議論した機能配置に関する考え方などは、蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に反映され、蒲郡市のまちづくりに生かされることとなります。
- ・次回は、学校や公民館、保育園、児童館といった地区利用型施設について検討する旨の説明がありました。
- ・「人口が減り、人口の構成が変わっていく中での小中学校のあり方について思うこと」について、次回までに「事前検討シート」に考えをまとめていただく旨のお願いがありました。